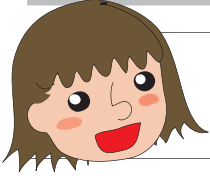




知床科学委員会 しんぶん

科学委員会本体会議 NO. 2



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

科学委員会って?!

科学委員会は、様々な分野の専門家が集まり、知床世界自然遺産のよりよい保全管理のためのアドバイスをする組織です。科学委員会の下には、分野ごとに5つの関連会議が設置されています。

科学委員会では、各会議からの報告を受けながら、遺産全般にかかる課題について議論されます。

今回の会議

2月21日(火)に札幌市の北海道立道民活動センター(かでの2・7)で今年度第2回目の会議がありました。

構成メンバー

- 大泰司 紀之 (北海道大学名誉教授 (委員長))
- 石川 幸男 (弘前大学 教授)
- 大島 慶一郎 (北海道大学 教授)
- 梶 光一 (東京農工大学 教授)
- 金子 正美 (酪農学園大学 教授)
- 工藤 岳 (北海道大学 准教授)
- 桜井 泰憲 (北海道大学 教授)
- 敷田 麻実 (北海道大学 教授)
- 鳥澤 雅 (道総研 中央水産試験場長)
- 中川 元 (知床博物館 学芸員)
- 中村 太士 (北海道大学 教授)
- 松田 裕之 (横浜国立大学 教授)

必見! TOPIC

知床のバイブル、知床データセンターへGO!

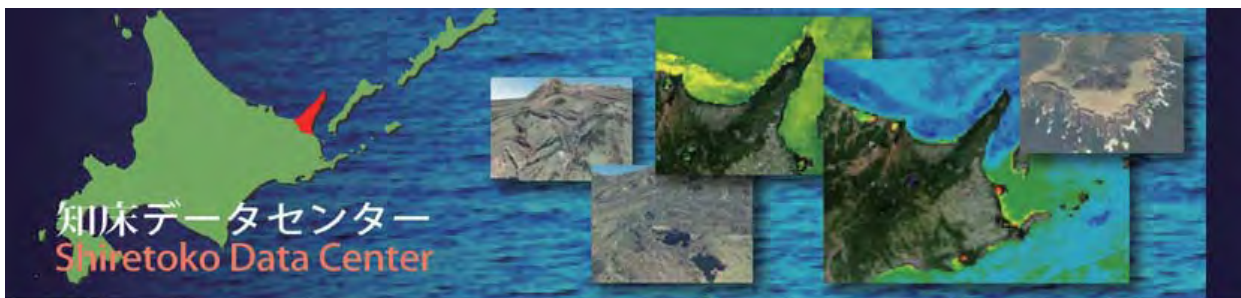


見たことあるかなあ。

知床の情報を広く集めたい、そんな時に役立つのが知床データセンターです。

知床が世界遺産になるまでの経緯や管理計画をはじめ、調査の報告書やモニタリングの最新データを自由に見ることができます。また、遺産にかかわる様々な会議の資料についても掲載されています。

フォトギャラリーでは、ヒグマやシャチなどの貴重な写真のほか、美しい知床五湖や羅臼岳などの写真を見ることができます。



- ホーム
- 知床世界遺産センター
- 知床の経緯
- 計画と法律
- 調査研究
- 会議資料
- 報道資料・啓発資料
- フォトギャラリー
- リンク

知床データセンターホームページ
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

ココ!

今回の会議の資料も
みることができるよ!



今回話し合ったこと

- ①各ワーキンググループ等の検討状況
- ②世界遺産委員会からの勧告への対応
- ③長期モニタリング計画の策定
- ④知床世界自然遺産地域年次報告書
- ⑤知床国立公園管理計画改定
- ⑥地域に向けた取組

注目!

長期モニタリング計画

知床を科学的に管理し続けていくため、今年4月から自然環境や人の利用状況などを継続的に把握するための調査を実施することになっています。今回の会議では、そのための調査計画の最終的な案が示されました。モニタリングに係る各種調査は、

一、遺産登録時の生態系や生物多様性が維持されているか、
二、世界遺産センターと国際自然保護連合からの宿題（勧告）に対応できているか、
三、遺産地域管理計画に記載された管理ができていないか、
という3点を評価するためのものとなっています。例えば、遺産登録の基準の1つとなった「生物多様性」が維持されているのかを評価するため、オジロワシの営巣状況調査、シレットコスミレの分布状況調査や外来種の侵入状況調査などの調査が

注目!

17の宿題

知床が世界自然遺産に登録された後、ユネスコ世界遺産センターと国際自然保護連合による現地視察があり、17の宿題（勧告）が出されたことは前号で紹介したとおりで

す。この宿題への回答を「保全状況報告書」としてまとめ、ユネスコ世界遺産センターへ1月に提出しました。ロシアのサンクトペテルブルグで開催される今年の第36回世界遺産委員会で審査されることになっています。

予定されています。全部で42のモニタリング項目が本計画に位置づけられています。



知床を代表する希少種
シレットコスミレ

アメリカオニアザミに訪花する
セイヨウオオマルハナバチ



宿題

遺産地域内のエゾシカ管理と北海道全体のエゾシカ管理とを注意深く調整すること

例えば…

回答

知床のエゾシカ保護管理計画は、北海道全体のエゾシカ保護管理計画の地域計画となっています。2つの計画は、共通の専門家が係わり、互いに調整してできています。また、保護管理施策の実施に当たっても密に連絡・調整を行っています。

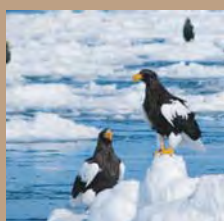
委員の中川
です。



北海道大学農学部卒業。斜里町に住んで34年。学芸員として鳥類の調査研究や保全活動を継続。前知床博物館館長。

斜里町と羅臼町の「町の鳥」は、同じオジロワシです。知床半島は、オジロワシやオオワシ、シマフクロウやケイマフリなど、絶滅が危惧される生物の貴重な生息地になっています。このことが世界自然遺産登録の理由の一つになりました。彼らの生活を脅かすことなく、訪れた人に自然を楽しんでもらう、その方策を考えていきたいと思えます。

委員 中川元



流水にとまるオオワシ

最後まで読んでいただき、
ありがとうございました。

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所
〒085-8639
北海道釧路市幸町 10-3
釧路地方合同庁舎 4階
TEL 0154-32-7500
FAX 0154-32-7575